

地震・津波 火災避難訓練



奥間っ子

奥間小学校
第18号
校長 久高利美子



十一月八日に地震津波避難訓練を、十二月五日に火災避難訓練を実施しました。二つの訓練とも日時を事前に知らせず行いました。子どもたちは、しっかりと放送に耳を傾け、速やかに移動することができました。

反省点として、地震津波避難訓練では、引き渡しカードに記載されている児童引き渡し場所が児童に伝わっていないことと上履きをきちんと履くこと、火災避難訓練ではハンカチの持参とこどもも上履きを忘れてしまっている子がいることがあげられました。常日頃からの意識を高くもちたいと思います。

安全マップ作成 各区毎に通学路の安全点検 子ども110番の家の確認をしました。

【二年児嶋佑斗】 三分十六秒で避難できたから早く逃げられたんだと思いました。急にベルがなったのでビックリしました。分かったことはガス・煙を吸って死亡した人が多いということと大人になる間に地震を体験するだろうこと。これからも「おかしもち」とハンカチを持つことを続けようと思います。

【五年 大城憧一郎】 僕は避難訓練をしていろいろなことがわかりました。火事の際は煙をすわなないことが大事だと思いました。火に焼かれるより、煙でなくなる方が多いからです。他にも体育館や廊下で地震があったときの身を守る方法も教えてもらいました。

【六年 大嶺葉月】 急に火事の放送が流れて、ビックリしたけどみんななどどこから避難するか、走らない方がいいとか協力して体育館まで避難することが

できた。ハンカチをもっていなかったため手や上着で口を押さえたり、上履きのまま避難したり適切な行動が取れたと思う。自分達のいる場所と火事の場合が近かったら風向きと道を考えて、できるだけ火事から遠い所から逃げるのを実際に体験してよくわかった。落ち着いて避難することが大事だとわかった。(あせっていたら適切な判断をすることができないと思う。)

〈めざす学校像〉

学ぶことが楽しい学校

あいさついっぱい 花いっぱい
友だちいっぱい 読書いっぱい

避難訓練後の子どもたちの振り返りをみると、しっかりと自分事として考えていることがよくわかります。